

令和6年度 年度評価表

1 指定管理施設の概要

施設名	舞鶴市農業公園		
指定管理者	株式会社農業法人ふるる		
設置目的	自然豊かな環境の中で農ある生活の場を提供することにより都市と農村との交流を促進するとともに、生産・加工・販売を一連としたアグリビジネスの拠点として整備することにより地域の振興を図る。		
選定方法	非公募	指定期間	令和6年4月1日 から 令和11年3月31日
所管課	産業振興部農林課		

2 利用状況等の推移

	令和6年度				
滞在農園利用組数（組）	0				
日帰り農園利用区画数(区画)	10				
コテージ利用者数（人）	5,425				
利用料金（円）	46,884,497				
事業分利用人数（人）	33,776				
事業分収入（円）	64,845,387				
指定管理料（円）	2,000,000				

※事業＝レストラン、加工工房、マーケット、体験（各施設の延べ人数）

3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
交流サロン（農業レストラン）の利用人数	38,000	24,000	17,983	75%
管理センター（ふるるマーケット）の利用人数	26,000	22,000	13,658	62%
コテージの利用人数	5,000	5,000	5,425	109%

4 収支状況

(円)

収入		支出	
利用料金	46,884,497	人件費	41,897,478
指定管理料	2,000,000	維持管理費	11,527,970
事業収入	64,845,387	事業費	64,013,128
その他	4,443,979	その他	898,794
合計	118,173,863	合計	118,337,370
差額			△163,507

5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	△	レストランとマーケットでは、自社農園で収穫した野菜や地元の食材を活かし、季節ごとにフェアを開催するなど集客に努めたが、物価高等により値上げを行ったため目標には届かなかった。一方で、クライנגアルテンの全19棟の宿泊コテージ化が好評を得て、目標人数を達成した。
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	○	施設の将来的な構想（ビジョン）に沿った運営が出来ている。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	○	施設の果たすべき使命（ミッション）を果たしている。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	○	市指定事業及び自主事業共に計画どおり行われている。加工工房の販売をマーケットに統合し、令和7年度に向けてカフェ事業の準備を行った。
利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	○	コテージの一部をペット可とし、コテージの利用率が2割増加した。レストラン及びマーケットの利用人数が少ない原因を調べ、新規にカフェ事業を準備するなど、レストランやマーケットへの有客につなげる努力がなされている。

(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	○	コテージ内の室内清掃や接客態度、設備の充実などで高評価を得られている。
利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	○	アンケートや窓口・電話において意見・要望を把握している。
利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	○	適切に対応している。
(3) 管理運営の効率性		
経費の節減が図られたか	△	部門間での人材の共有、食材や消耗品の徹底した在庫管理と発注前単価のチェックが行われている。一方、計画されていた給与明細のペーパーレス化は実現していない。
委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	○	在庫管理と発注前の単価チェックを徹底し、価格が上昇した物品は代替品に変更するなど、経費を最小限に抑えるよう取り組んでいる。
収入増加のための取組が行われたか	○	宿泊コテージを全棟稼働し季節ごとのイベントの実施、LINE会員へのクーポン配布など、集客と収入増加に取り組んだ。
(4) 適正な管理運営		
適切な人員配置が行われたか	○	限られた人員の中で、職員の適性を把握し部門ごとの人材シェアを行うなど、効率的な運用と人件費の削減に取り組んでいる。
職員の能力向上のための取組が行われたか	○	全員が野菜づくり等の農に携わる取組を行い、農業公園の主旨や専門知識の理解を深めている。また、個人面談や部門ミーティングを行い、コンセプトの周知や接客対応の向上に取り組んでいる。
施設の平等な利用が行われたか	○	適切に行われている。
個人情報の管理が適切に行われたか	○	適切に行われている。
情報の公開が適切に行われたか	○	適切に行われている。
収支状況や会計処理が適切か	△	会計処理は適切に行われている。コテージ収支は好調だが、レストランやマーケットの収支が低調。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	適切に行われている。
備品等の管理が適切に行われたか	○	適切に行われている。
危機管理、安全対策などは十分か	○	消防計画などに沿った安全対策を実施している。
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	適切に行われている。
(5) その他コメント		
サービス向上	多角的なサービス向上に積極的に取り組んでる。コテージでは全棟稼働に加え、ドッグイベントの開催により稼働率を20%向上させるなど、ニーズに応じた利用促進が図られている。レストランでは、価格に見合ったサービスの提供を目指し、接客や料理の見せ方（POPデザイン）の工夫で顧客満足度の向上に努めている。	
経費削減	限られた人員の中で部門間の人材シェアやマルチワーク推進で、質を向上させようと人件費の増加を抑制した。また、食材や消耗品の発注時には価格を厳しくチェックし、代替品への変更や過剰在庫の抑制、原価管理の徹底により、材料費の削減にも成功している。	
施設の維持・管理	施設内の定期的な点検で危険箇所の早期改善に取り組んでいる。また、月1回の環境整備日を設け、全スタッフで園内の景観整備を行うことで美しく整った施設環境が保たれている。	

※ (1)から(4)までにおける評価区分

◎(優)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準より優れた内容である。

○(良)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に沿った内容である。

△(可)： 協定書、仕様書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。

×(不可)： 協定書、仕様書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。

6 選定委員会による評価

評価点	3点	※左記の点数は、各委員が次の5段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5：良い、4：やや良い、3：普通、2：やや悪い、1：悪い
総評	・コテージ部門で利益を上げており収支が改善されたことは評価。継続して努力してほしい。 ・農業体験は子どもに人気がある。PRに力を入れてほしい。リピーターが多いと聞くが新規獲得の努力をしてほしい。 ・努力している点は評価できるが、生産・加工・販売については改善の必要がある。	

《参考》 過年度の評価点

年度	年度	年度	年度	平均